平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学	杉	交	名	本巣市立根尾小学校
実	施	期	間	平成26年10月18日(土)
実	施	概	要	三世代交流会 ① 手作り遊び大会(異年齢集団による交流活動) ② 「オータムコンサート」(岐阜大学吹奏楽団による音楽鑑賞会) ③ 臼と杵での餅つき体験活動 ④ 地域の方や家族とのお餅と豚汁の会食会 ⑤ セレモニー
実	施	内	容	学習・取組の分野 □自然 □歴史 □文化 □産業 ☑ その他
				公開の方法 □授業公開 □成果発表 ✓ 交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 ✓ その他(音楽鑑賞会)
来	校	者	数	保護者 56 人 地域関係者 112 人
実	施	状	況	1 うすずみフェスティバル 異年齢集団の班ごとに遊びを工夫し、「お店屋さん」と「お客さん」の役を交 代で行った。全部で4種類のお店と地域のお年寄りの方による「昔遊び名人コーナー」を計画し、児童と保護者・地域の方は、スタンプラリーカードを持って各 コーナーを回り、体験し終わったらそのカードにスタンプを押してもらった。 くうすずみ班での活動の種類> 福笑い・お化け屋敷・缶積み・羽根つき・豆運び・輪投げなど <昔遊び名人コーナー> ・地域のお年寄りによる昔遊びコーナー(お手玉・竹で作った水鉄砲・車輪回し・ 竹馬・陣地取り・あやとり等) 2 「オータムコンサート」 ・岐阜大学吹奏楽団の学生を招き、音楽鑑賞会を実施。名曲を鑑賞後、楽器体験 を根尾中学校生徒や保護者・地域の方々といっしょに楽しんだ。 3 「臼と杵での餅つき体験」 ・学年ごとに分かれて臼と杵を使った餅つきを体験した。餅には春の遠足の時に 全校で摘んだよもぎを混ぜて、半分はよもぎ餅に、残りの半分は白餅につき、 きなこ餅にした。地域の祖父母の方が、慣れた手つきで臼と杵を使い、昔なが らの餅つきの仕方を実演してくださり、その後に、児童全員が交代しながら断 つき体験を行った。臼や杵で餅つきをする機会のほとんどない児童にとって は、昔の人たちの「技」を実際に見ることができ、たいへん貴重な体験になった。 4 昼食;餅・豚汁の昼食タイム ・餅つきで作ったきなこ餅とヨモギ餅、PTA役員の方が作ってくださった豚汁 を参加者全員で食べながら交流した。 5 「セレモニー」(心を込めて作ったプレゼントの贈呈) ・手作りのプレゼントを招待客全員に全校児童一人一人が感謝の言葉を添えて手 渡した後、児童代表、校長、PTA会長が挨拶の言葉を述べた。

成果及び課題

【成果】

- ①「うすずみフェスティバル」
- ・異年齢集団による創造的な活動の工夫が見られ、どの班の児童も思いやりの心で協力したり地域の方に心温まる対応ができたりして、保護者や地域の方から賞賛の言葉をいただいた。
- ・「昔遊び名人コーナー」のために、地域ボランティアの方が昔の遊び道具を作ってきてくださったり、当日の遊び道具の修理を協力してやっていただいたりして、地域の方々の温かい心に触れることができた。
- ②「オータムコンサート」
- ・迫力のあるコンサートで、児童のみならず地域の方にも楽しんでもらえた。中学生も参加できてよかった。特に、「楽器体験」では、いろいろな金管楽器に直に触れることができ、オカリナや鼓笛を長年に渡って練習している根尾の子どもたちの「あこがれ」にもなった。
- ③餅つき体験・昼食・セレモニー
- ・地域の方々が、進んで餅つき・手返しなどに参加していただけ、その技の素晴ら しさを実際に見ることができてよかった。吹奏楽団の学生も参加し、餅つきをい っしょに楽しく体験できた。
- 家族や地域の方々といっしょに昼食をとることができ、和やかなひと時を過ごせた。

【課題】

- ①「うすずみフェスティバル」の活動内容をより多くの方が楽しめる内容にしていきたい。
- ②豚汁作りは、食材の準備から調理までPTA役員さんの負担が大きいので内容を 考えたい。
- ③早朝からほぼ一日がかりの行事になるため、内容を検討し、時間の短縮を図っていきたい。